

2008年12月23日(火) クリスマス・イヴイヴ礼拝

前奏		
音楽	「Room for Christ」	坪井師・倉知師
賛美	「もろびとこぞりて・いざ歌え」(天にも地にも)	
音楽	「O Happy Day」	シティ・クワイア
	「O Holy Night」	Abs
聖書	マタイによる福音書2章1～12節	
音楽	サインダンス	
メッセージ	「篤姫ご一行様と博士たち」	大川従道牧師
献金	「きよしこの夜」・ハレルヤ!	
祝祷		

2008年12月24日(水) クリスマス・イヴイヴ礼拝

司会		小崎淳広 副牧師
音楽	マリアの子守唄	
賛美	「もろびとこぞりて・神の御子は今宵しも」	
	O come let us adore Him	
聖書	マタイによる福音書2章1～12節	
音楽	「メサイヤ」より ハレルヤコーラス ほか	
	カルバリー聖歌隊・アンサンブル 指揮:西田美榮子	
メッセージ	「篤姫と博士たちとサンタクロース」	大川従道 牧師
音楽	「アメージング・グレイス」	西由起子・本田武久
献金	「きよしこの夜」・ハレルヤ!	
祝祷		
賛美	「私があなたがたを選んだ」	

初詣礼拝

日時:1月1日(木) 午前10時50分 (1回のみ)

説教:大川従道 牧師

「最高の人生の見つけ方(The Bucket List)」

「きよとうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。

「このかたこそ主なるキリストである。」
(ルカによる福音書二章十一節)

祝・主の御降誕!

皆様のの上に、クリスマスの恵みが

あふれ注がれますように祈ります

牧師 大川従道・道子

石の枕

歴史上「サンタクロース」が、冷たく扱われた時代がある。

フランスでは教会の前の広場で火刑に処され(1951年)たり、あのマルチン・ルターでさえ排除した。イギリスではあまりにも俗化したので、国会で「NO! Christmas!」を決め、町中で叫んだりで、サンザン苦労した。

しかし「サンタクロース」の存在意義を否定しきれず、歴史を超えて、本日、保守派の大川牧師までが、サンタクロースを肯定的に扱うように宣言します。この結論が熟慮の上であるかぎり、その存在を福音的に、聖書的に理解し、伝達することは、私たちの恵みであり、楽しい特報であります。

このことは、私にとっては50年の、キリスト教界にとっては千数百年のもやもやが快晴になったということです。後ろめたさからの解放です。

勿論、クリスマスはサンタクロースの誕生日ではありませんが、彼が有しているメッセージこそ、孤立化しやすく、敷居が高いと思われるキリスト教を大衆化し、福音を伝えるチャンスになることは確かです。

先日の「子どもXマス」でも、大声で、何度も「サンタさーん!」と叫びまくっているチャペル内の空気は、私を再び「心筋梗塞」へ導くかの衝撃でした。

あれから祈り、考えて、文献を読み、時間をかけた結果、このコラムを書いています。子どもたちに夢を与えながら、齢と共に、サンタが運んでくれた上からのメッセージを語り伝え続ける。それがクリスマス!

“こんこん小雪の降る晩に、サンタクロースのおじいさん、袋をかついで杖ついて、良い子のお家に参ります。良い子のお家はどこじゃいな。ヨシヨシ分かったこの家じゃ。それならお土産置いていこう。良い子よ、お休み、あしたまで”—— 本当にこの歌60年前に憶えたものです。「正直」で「誠実な」子どもには、神様がすばらしいプレゼントをくださるという倫理は、大人の世界でも真剣に受けとめるべきことですし、家庭や国を変えることにつながります。そして、不正直、ウソ、偽り、不誠実、ごまかし、裏切りを素直に認めて救い主イエス・キリストの前で、悔い改めし、赦しと愛と解放をいただく。

すなわち、サンタさんの後に、イエスさまがおられます。勿論、サンタクロースとは、歴史上の「聖ニコラス」(AD270～343年)がモデルです。赤い服装は、イエス様の血を表しています。あなたも、サンタになれます。いただくことばかり考えないで、与える喜びを味わいましょう。「受けるよりは与える方が幸いである」(使20の35)。 Merry Christmas and God Bless you!